



第40回 JNN ネットワーク協議会賞 大賞
「長岡花火のキセキ ～白菊とフェニックス～」より

BSN

株式会社新潟放送 証券コード:9408

第 **86** 期
事業のご報告

2015. 4. 1 ▶ 2016. 3. 31



株主の皆様へ



平素は当社事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社第86期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業の概況をお届けいたしますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長

竹石 松次

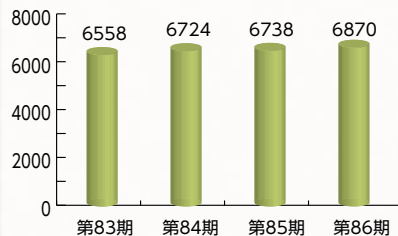
事業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策の継続により、期半ばまでは緩やかな回復基調を見せました。しかしながら、消費税増税後の個人消費低迷の長期化に加え、中国経済の減速に端を発する株安、米国経済の不透明感による円高などが景況感を悪化させました。

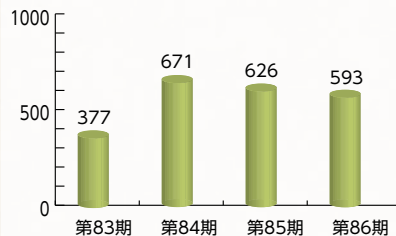
これらを背景に、放送業界における広告出稿も先が読めない状況が続き、当社はラジオ部門においては、タイム収入、スポット収入、制作収入とも前期の実績を下回る厳しい結果となりました。一方テレビ部門におきましては、主力のスポット収入が伸び悩む中、番組の企画・制作に注力し制作収入の確保に努めたことによりほぼ前期並みとなりました。また、放送以外の部門におきましては、大型のスポーツイベントを企画、実施したほか、所蔵するコンテンツの二次利用をはじめ、広告主の需要に即した営業活動を推し進め、収益の確保に傾注いたしました。

この結果、当期の営業収益は68億7千万円と、前期に比べ2.0%の増収となりました。利益面では全社を挙げてコスト削減に努めましたが、営業費用等の増加により、経常利益は5億9千3百万円と前期に比べ5.3%の減益となりました。しかしながら、最終的な当期純利益では4億7千8百万円を確保し、前期に比べ3千7百万円の増益となりました。

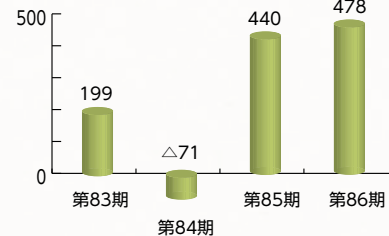
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益又は損失 (百万円)



ラジオ部門

当期におけるラジオ収入は、前期比 7.0%減の 7 億 6 千 5 百万円となり、5 千 8 百万円の減収となりました。タイム収入と制作収入はネット番組のレギュラー落ちや公開録音番組の減少で前期を下回り、スポット収入も前期に届きませんでした。番組制作面では 7 月に恒例の「BSN 夏ラジオ」を開催し、リスナーへの感謝の気持ちを伝えました。11 月 1 日にはワイド FM (FM 補完放送) をスタートさせ、開局を記念して新潟市の中心街で「BSN 秋ラジオ」を開催、AKB グループ「NGT48」や地元アイドルを迎えて音楽を中心としたイベントを展開し、日頃ラジオに触れる機会の少ない若い年齢層に BSN ラジオを PR することができました。

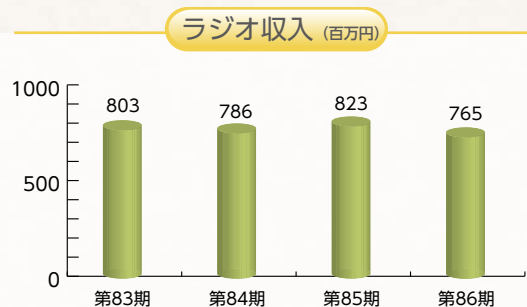


ワイドFM開局 周波数92.7MHz 出力1kW (11月1日)



ワイドFM開局記念「BSN秋ラジオ」(11月1日)

「BSN夏ラジオ」(新潟ふるさと村 7月25、26日)



2日間で約2万人が来場



テレビ部門

当期におけるテレビ収入は、前期比0.1%減の52億3千3百万円となり、4百万円の減収となりました。このうち、タイム収入は前期比0.8%増、制作収入は前期比18.6%増と大きく上回ったものの収益の柱であるスポット収入の減収分6千9百万円をカバーすることができませんでした。

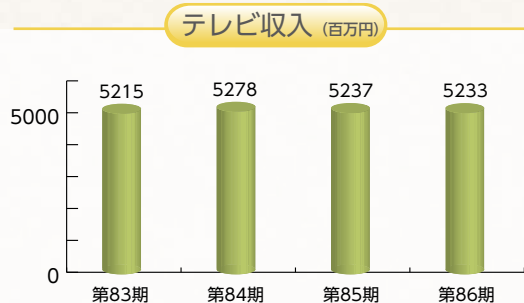
番組制作面では、昨年3月に放送した「トキ新世界を生きる」が2015年度第46回科学放送高柳賞の優秀賞を受賞。昨年1月に放送した「長岡花火のキセキ～白菊とフェニックス～」が2015年度第40回JNNネットワーク協議会賞の大賞を受賞、さらに12月放送の「ガラスの中の夢たち～自然クリエイター天野尚が遺したもの～」が同賞の奨励賞を獲得するなど、BSNの制作能力が高く評価されました。報道関係では、戦後70年にあたり、8月14日にハワイ真珠湾で打ち上げられた模様を衛星中継したほか、全国ネットのニュース番組「NEWS23」の中で、真珠湾で大輪の花を咲かせ、慰霊と平和の願いが込められた長岡花火について特集で伝えました。



第40回JNNネットワーク協議会賞大賞
「長岡花火のキセキ～白菊とフェニックス～」



第40回JNNネットワーク協議会賞奨励賞
「ガラスの中の夢たち～自然クリエイター天野尚が遺したもの～」



2015年度第46回科学放送高柳賞 優秀賞
「トキ新世界を生きる」2015年3月放送

その他の部門

その他の部門の収入は、前期比 28.6%増の 8 億 7 千 1 百万円となり、1 億 9 千 3 百万円の増収となりました。このうち、ラジオ・テレビに関連するものとしては、番組や CM を県外の放送局に積極的にネットセールスすることで増収に繋がったほか、当社の制作力を活かし、佐渡をはじめとする地域活性化に資する記録映像などの受注を増やすなど、多角的な営業展開を図りました。

スポーツ関係では、5月にプロ野球公式戦「横浜 DeNA ベイスターズ vs 東京読売ジャイアンツ」を主催し、2日間で4万5千人がスタンドを埋め、熱い声援を送りました。音楽・イベント関係では「日韓アイドルコンサート」や「新垣隆 & 磯絵里子コンサート」、「ダンボール遊園地」など多くの公演や催しで観客を魅了しました。また、人気企画となった「全国麺祭り」を今期も開催し、札幌から大阪までの人気店 8 店舗の参加により 2 万 6 千杯近くのラーメンが販売され、好評を博しました。



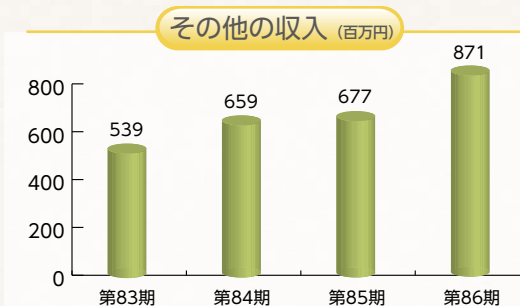
横浜DeNAベイスターズvs東京読売ジャイアンツ(5月9、10日)
ハード・オフ・エコスタジアムに4万5千人が来場



「水曜見ナイト 新潟ラーメン王国 全国麺祭り」
(10月29日～11月3日)



「ダンボール遊園地」(7月25日～8月12日)
国内で最大規模 24メートル四方の迷路が登場





対処すべき課題

情報通信技術の急速な進歩は他メディア化・多チャンネル化を進展させると同時に、放送業界を取り巻く環境をこれまでにない速度で変化させています。こうした激変期にあっても、放送事業者の使命は、信頼できる情報と良質なコンテンツを地域の聴取者・視聴者に送り届けることとあります。ラジオ・テレビ兼営という優位性を持つ当社は、その中核となる事業を継続していくために、両部門の広告収入をさらに拡大させ、経営基盤を強化することが必要不可欠であると考えております。

また、放送以外の収入につきましても、「収入減の多角的拡大」の観点から、従来の大型スポーツイベントや文化事業等に加え、番組やCMの配信ビジネスや海外向けの番組販売など、映像コンテンツの二次利用、三次利用やデジタル放送による新しいサービスの研究開発等に積極的に取り組んでまいります。

昭和 27 年にラジオ局としてスタートした当社は、来年創立 65 周年を迎えます。放送を通じて公共の福祉、文化の向上、産業と経済の発展に寄与するという経営理念は創業当時から揺らぐことなく不変であります。今後も「地域に必要とされる放送局」であり続けるために、聴取者・視聴者の目線に立って地域社会のために尽力してまいります。

設備投資の状況



弥彦山頂に設置されたFM送信設備
(右下は拡大写真)



小型SNG伝送車



非常用発電機

当期中に実施した設備投資総額
259,000 千円

〈主な設備投資等〉

- ・ BSN 新潟 FM 局
- ・ 小型 SNG 伝送車
- ・ 本社屋上に非常用発電機設置

財務諸表

■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当期末		前期末	
	平成28年3月31日		平成27年3月31日	
(資産の部)				
流動資産	10,539,714	9,515,154		
固定資産	11,706,153	12,249,916		
有形固定資産	7,157,621	7,281,736		
無形固定資産	263,068	702,308		
投資その他の資産	4,285,463	4,265,872		
資産合計	22,245,867	21,765,071		
(負債の部)				
流動負債	4,830,274	4,848,986		
固定負債	1,841,491	2,145,841		
負債合計	6,671,765	6,994,827		
(純資産の部)				
株主資本	13,725,924	13,089,498		
資本金	300,000	300,000		
資本剰余金	5,750	5,750		
利益剰余金	13,420,698	12,784,271		
自己株式	△524	△524		
その他の包括利益累計額	292,799	213,351		
非支配株主持分	1,555,377	1,467,394		
純資産合計	15,574,102	14,770,243		
負債・純資産合計	22,245,867	21,765,071		

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当 期		前 期	
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで		平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,104	1,968		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170	△803		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△917	△1,123		
現金及び現金同等物の増加額	1,016	41		
現金及び現金同等物の期首残高	3,352	3,311		
現金及び現金同等物の期末残高	4,368	3,352		

■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当 期		前 期	
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで		平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	
売 上 高	21,057,248	20,249,872		
売上原価	15,249,410	14,563,423		
売上総利益	5,807,838	5,686,448		
販売費及び一般管理費	4,754,184	4,731,701		
営業利益	1,053,654	954,747		
営業外収益	76,623	102,293		
営業外費用	27,693	42,742		
経常利益	1,102,584	1,014,297		
特別利益	79,050	147,285		
特別損失	58,775	227,918		
税金等調整前当期純利益	1,122,859	933,664		
法人税、住民税および事業税	249,089	135,366		
法人税等調整額	94,160	186,145		
当期純利益	779,608	612,152		
非支配株主に帰属する当期純利益	98,188	75,808		
親会社株式に帰属する当期純利益	681,420	536,344		

■ 個別 ハイライト ■ (単位：百万円)

科 目	当期末		前期末	
	平成28年3月31日		平成27年3月31日	
総資産	12,196	11,938		
純資産	10,633	10,129		

科 目	当 期		前 期	
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで		平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	
売上高	6,870	6,738		
営業利益	515	528		
経常利益	593	626		
当期純利益	478	440		



■ 重要な子会社の状況 ■

会社名	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株) BSN ウェーブ	85	100.0	建物管理及び不動産業
(株) BSN アイネット	200	65.5	情報処理サービス及び電算機器の販売
(株) ビーアイテック	50	65.5	パソコン機器及び関連商品の販売、 及びシステム建設並びに保守
(株) IT スクエア	80	56.3	情報化戦略立案支援及び情報システム導入 調達支援

BSN グループ (◇は連結対象子会社)

(株)新潟放送

◇(株) BSN ウェーブ

◇(株) BSN アイネット

◇(株) ビーアイテック

◇(株) IT スクエア

(株) エム・エス・シー

(株) エヌ・ティ・エス

龍越ソフト(株)

(株) グローバルネットコア

(株) 日本ファシリティ

株式の概況 (平成28年3月31日現在)

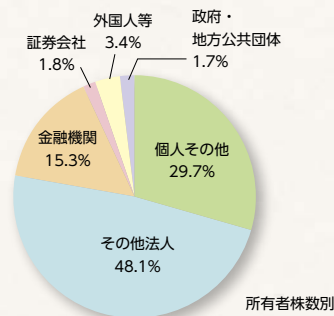
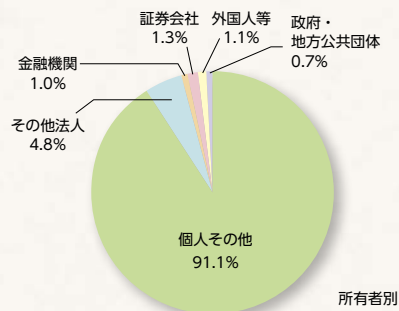
- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株
(自己株式 794 株を含む)
- ◆ 株主数 1,332 名

◆ 大株主 (上位 10 名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	765,800 株	12.7 %
越後交通株式会社	579,050	9.6
株式会社東京放送ホールディングス	485,000	8.0
株式会社第四銀行	299,600	4.9
第四リース株式会社	204,000	3.4
株式会社損害保険ジャパン	132,000	2.2
蒲生逸郎	122,000	2.0
BSN 従業員持株会	121,100	2.0
ROYAL BANK OF CANADA	120,000	2.0
みずほ信託銀行株式会社	107,000	1.7

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (平成28年3月31日現在)



会社の沿革 (平成28年3月31日現在)

昭和27年10月14日	会社創立「株式会社ラジオ新潟」 (資本金5,000万円)
12月24日	ラジオ放送開始
29年 5月 1日	増資 2,000万円 (ラジオ設備資金) 資本金7,000万円
33年 2月17日	増資 1,400万円 (株式配当) 資本金8,400万円
3月25日	増資11,600万円 (テレビ設備資金) 資本金20,000万円
12月24日	テレビジョン放送開始
36年 3月 1日	商号「株式会社ラジオ新潟」を 「株式会社新潟放送」に変更
38年 9月 2日	増資10,000万円 (BSN産業会館設備資金) 資本金3億円
39年10月 1日	テレビジョンカラー放送開始
44年 4月15日	東京店頭売買銘柄に登録
49年 8月30日	決算期を毎年3月31日とする 年1回決算に変更
平成 5年 8月20日	500円額面株式1株を50円額面 株式10株に分割し、1単位の株式 数を100株から1000株に変更
11年 8月 2日	1単位の株式数を1,000株から 100株に変更
13年10月 1日	1単位の株式数100株を1単元の 株式数100株に変更
16年12月13日	ジャスダック証券取引所(現 東京証 券取引所ジャスダック市場)に変更
18年 4月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
23年 7月24日	テレビのアナログ放送終了し、 デジタル放送に完全移行
27年11月 1日	ラジオFM補完放送開始

役員 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	竹石松次
常務取締役	赤塚 宰
常務取締役	斎藤和利
取締役	島田好 久
取締役	高坂元 己
取締役	佐藤隆 夫
取締役	梅津雅 之
取締役	小田敏 三
取締役	吉田 靖
取締役	並木富 士雄
常勤監査役	五十嵐 幹 史
監査役	高橋道 映
監査役	中山輝 也
監査役	瀬賀弥 平
顧問	田中 眞紀子
特別顧問	高澤正 樹
特別顧問	牧野庄 三





株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会** 毎年6月
- 剰余金の配当** 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 中間配当** 取締役会の決議によって、中間配当を実施する場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 株式名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 単元株数** 100株
- 公告掲載新聞** 新潟日報

◆お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合

住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

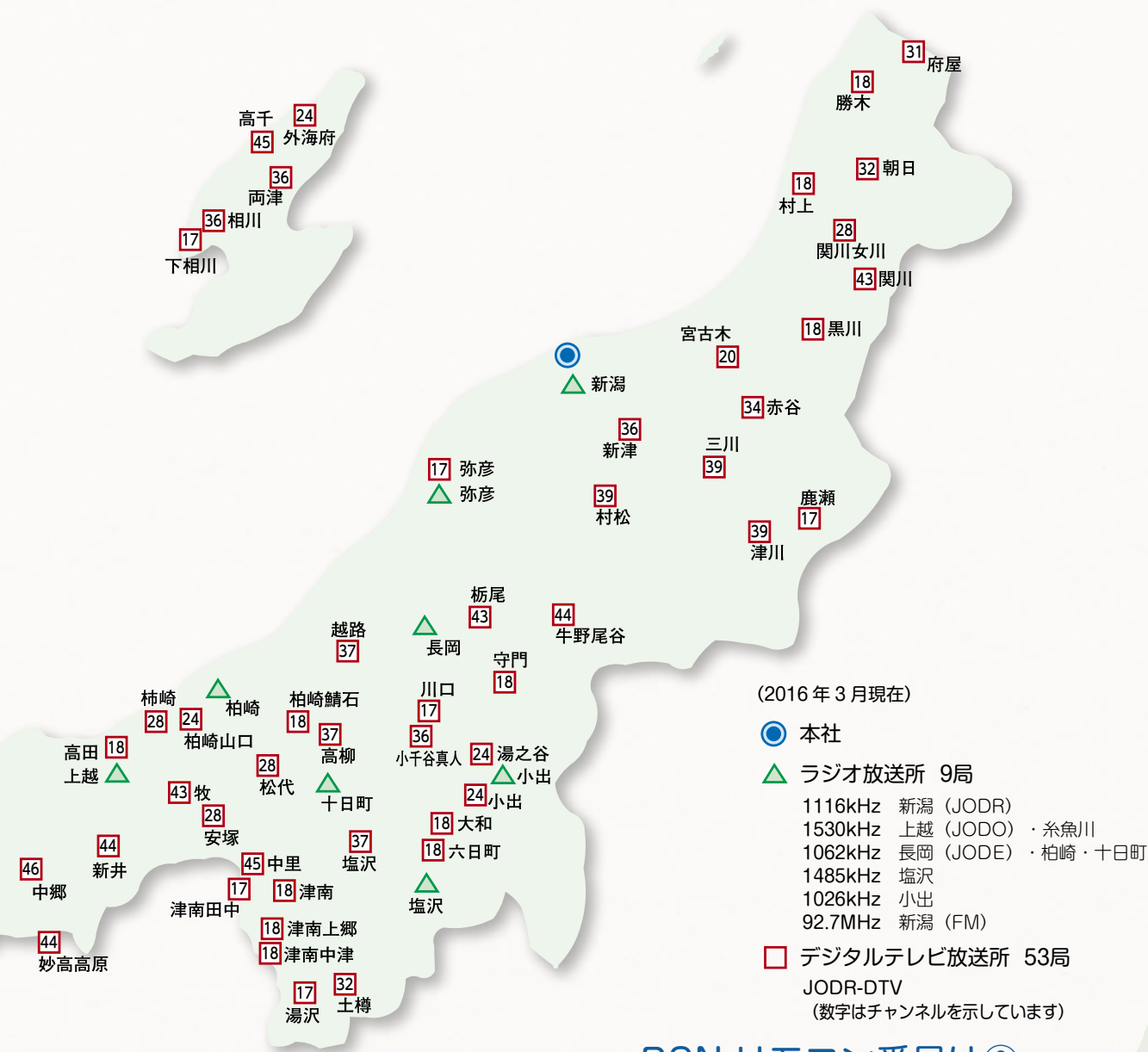
証券会社に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）

下記のお取扱店にてお取次ぎいたします。

- ◆お取扱店** みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所
みずほ信託銀行 本店、全国各支店
- ◆お問合せ先** 〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4
みずほ信託銀行証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324

BSN ラジオ・テレビ





BSN リモコン番号は⑥

BSN



■ 本 社

〒951-8655
新潟市中央区川岸町3-18
tel 025(267)4111

■ 事業局

〒950-8448
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ
(事業部) tel 025(290)7844

■ 長岡支社

〒940-0082
長岡市千歳1-3-43
メディアプラット
tel 0258(35)7531

■ 上越支社

〒943-0831
上越市仲町4-3-19
マルケーバスビル
tel 025(524)2115

■ 東京支社

〒104-0061
東京都中央区銀座5-15-1
南海東京ビル
tel 03(3543)5001

■ 大阪支社

〒530-0001
大阪市西区江戸堀1-9-1
肥後橋センタービル
tel 06(6344)2701